「あいの沢キャンプ場」へようこそ！

多くのキャンパーに愛されています

週末ごとに多くのキャンパーでにぎわう『あいの沢キャンプ場』。緑の木立に囲まれ、山野の花が彩る「村民の森あいの沢」のエリア内に位置します。

『あいの沢キャンプ場』は、昨年4月にリニューアルオープンし、1年間のモニター利用を経て、この春から有料での営業となっています。15区画のオートキャンプ場に加え、広々としたフリーサイトもオープン。手ぶらで来てもキャンプが楽しめるレンタル用品も整いました（数には限りがありますのでぜひご予約を）。また、フリーサイトのトイレが改修され、ウォシュレット機能付きの最新型に。隣接する「宿泊体験館きこり」も改修工事が完了し、日帰り入浴・本館宿泊を再開しています。

キャンプをしていた皆さんに、『あいの沢キャンプ場』の魅力を聞いてみました。

『平日無料』始めました

７月１日から当面の期間、村民の方・村内でお勤めの方（ご家族を含む）に、月曜日から金曜日の平日に限り、「あいの沢キャンプ場」を無料でご利用いただけるようになりました。この機会にぜひご利用ください。

※予約は先着順でいっぱいになり次第締め切ります。

６月中旬、週末を利用して多くの人が訪れていました。子どもも大人ものびのび過ごすファミリーキャンプ、友人同士でキャンプ飯を囲むグループキャンプ、一人ぜいたくに時を楽しむソロキャンプなど、そのスタイルはさまざま。このキャンプ場のお気に入りのポイントを聞くと「木陰がいいですね」「オートキャンプ場のサイトの水はけがすごくいい」「スタッフの方が親切であたたかい」「リーズナブルだと思いますよ」と気さくに答えてくださいました。管理棟のスタッフもアンケートなどで利用者の声を集めサービスの向上に努めています。

池のほとりに広々フリーサイト。

青空のもと、水辺の緑が鮮やか。

リピーターさんに聞きました

豊かな自然と行き届いた整備
静かな夜がたまらないですね

春田一成 さん（南相馬市）

東北エリアを中心にご夫婦でキャンプを楽しんでいる春田さん。キャンプのリポートと共に訪れたキャンプ場の魅力をSNS等で紹介しています。

このキャンプ場は外から人を呼べるとてもよい観光資源になるだろうと感じています。この環境を大切にしていただきたいですね。特に夜とても静かなのがたまらなくいいです。人工物が少なくて灯りも程よいので、星がものすごくきれいに見えます。それでいて実は整備が行き届いた管理キャンプ場であるという点も大事なポイントです。開放感があり景色のよいフリーサイトも気に入っています。天気の情報などをリアルタイムで知りたいと考えるのでWi-Fi（インターネット環境）を入れていただけるとさらに申し分ないと思います。

あいの沢 キャンプ場
☎0244-42-0511（管理棟／電話受付・午前９時～午後４時）
■オートキャンプ場（電源付き・炊事場あり）
１サイト１泊2,000円・日帰り1,000円
■フリーサイト（電源なし・炊事場なし）
１区画 １泊500円・日帰り300円
■チェックイン午後１時～午後５時／チェックアウト午前10時
■ペット同伴可（リードを着用の上）

村HPより

広報いいたて
2023年７月号

目次　CONTENTS

02　話題「あいの沢キャンプ場」
04　特集１「点検しよう私の『防災』」
10　特集２「未来を育む農地活用」
14　空から百景「村民の森あいの沢」
16　報告「６月議会定例会」
18　学びの広場「絵画ワークショップ」ほか
19　ほけんとふくし「百歳賀寿」ほか
20　いいたて便り
22　話題のパレット
23　村からおしらせ
24　いいたてイノサル通信
25　歴史の散歩道／ふれ愛館だより
26　いいたてDIARY／村民広報委員コラム
27　愛楽故郷味／ひとのうごき ほか
28　ほっとNEWS ほか

今月の表紙

飯樋地区の大豆畑で「13区営農組合」の皆さんが、畝と畝の間を耕す「中耕」の作業を行っていました。大型のトラクターが苗の間を走行し、耕すと同時に根元に土を寄せていきます。一方のトラクターには北海道から取り寄せたカルチ（除草機）がセットされていて、畝間の除草に力を発揮しているそうです。広い農地で効率よく進められる、ダイナミックでしかも繊細な作業に目を奪われました。（関連記事Ｐ10）

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページなどに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係☎0244-42-1613までお知らせください。